

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

地域の宝・若桜鉄道を活用した観光推進事業

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

鳥取県八頭郡若桜町及び八頭町

### 3 地域再生計画の区域

鳥取県八頭郡若桜町及び八頭町の全域

### 4 地域再生計画の目標

#### 4-1 地方創生の実現における構造的な課題

現在、平成30年1月に、鳥取県東部及び兵庫県北西部の1市6町で創設したDMO「(一社)麒麟のまち観光局」を中心とした広域的観光の取組を進めているが、若桜、八頭両町への観光客の誘客の観点から、昭和の趣が残る駅舎や沿線風景、平成27年4月に実施したSL走行の社会実験での経済効果(約1800万円)や平成28年5月に行われたピンクSLイベント(集客数約19,000人)など、若桜鉄道の活用を中心とした取組を進めており、更なる活用、活性化が必要となっている。

また、八頭町・若桜町を結び、JR西日本への乗り入れにより県庁所在地である鳥取市まで接続し、地域交通の要となっている若桜鉄道は、平成21年度から全国に先駆け上下分離方式(※車両及び駅舎等の施設は両町が第3種鉄道事業者として所有・管理)での運営により経営改善に取り組んできたところ、平成28年度以降連続で黒字決算となるが、沿線人口減少に伴う継続利用者の減少の影響は依然継続しており、利用客の増加や、営業外収益の確保により、安定経営を図ることが課題となっている。

#### 4-2 地方創生として目指す将来像

SL社会実験では1,800万円の経済効果を生むなど、更なる集客の核となり得る若桜鉄道について、観光資源化に向けた取組を進め、沿線地域の観光客の増加や地域経済の活性化を図るとともに、人口減少が進む中、地域交通の要ともなっている継続的な鉄道運営を可能とするための安定的な経営を確保し、安心・安全な交通体系の維持を図る。

## 【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	2016年度 増加分 (1年目)	2017年度 増加分 (2年目)	2018年度 増加分 (3年目)
観光客入込数(人)	604,108	15,892	60,000	45,000
若桜鉄道乗客数(人)	326,000	16,800	16,800	16,800
若桜鉄道繰越損益 (千円)	-14,910	3,000	3,000	3,000
観光客入込数(人) 【再掲】	604,108	15,892	60,000	45,000

	2019年度 増加分 (4年目)	2020年度 増加分 (5年目)	KPI増加分の累計
観光客入込数(人)	50,000	50,000	220,892
若桜鉄道乗客数(人)	18,000	18,000	86,400
若桜鉄道繰越損益 (千円)	5,000	5,000	19,000
観光客入込数(人) 【再掲】	50,000	50,000	220,892

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

若桜鉄道を活用した観光推進は、これまでの取組から、単なる若桜鉄道の利用にとどまらず、その他の観光施設、宿泊施設の利用につながる観光客の誘引力となっており、地域への観光客の流入・産業活性化につながっている。

このため、昭和の原風景を走る新しく懐かしい旅を演出するための車両の観光列車化を行い、観光列車を活用したツアー造成やオリジナル商品の開発、周辺観光施設との連携事業の実施、観光客の利用に資する駅舎の美装化等を進めることにより、鉄道利用を核とした更なる観光客の流入を図るものである。

## 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

### 地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

#### ① 事業主体

2に同じ。

#### ② 事業の名称

地域の宝・若桜鉄道を活用した観光推進事業

#### ③ 事業の内容

これまで、両町及び若桜鉄道㈱が連携し、上乗せ分交付金タイプⅠ、加速化交付金、推進交付金を活用し、継続的な鉄道運営を可能とするための事業支援を行うとともに、観光事業化に向けた調査研究、鉄道を活用する沿線の観光資源のブランディング、車両の観光列車化や女性観光客が利用しやすい駅舎トイレの整備を進めているところ。

※沿線活性化の取組では、八頭町が加速化交付金を活用して推進している隼L a b.プロジェクト（若桜鉄道隼駅近隣の平成28年度に閉校となった隼小学校の空き校舎をリノベーションし、イノベーターやIT関係企業の誘致、起業支援等を行う事業）に参入の町出身の企業上場経験者を講師として、起業に関心を有する方を対象に若桜鉄道の沿線活性化をテーマにした起業機運を醸成するセミナーを開催するなど、事業間・政策間の連携を図った取組も実施。

こうした中で、若桜鉄道を活用した観光推進については、これまで、SL走行社会実験、沿線の隼駅がSUZUKIの大型バイク「隼」ライダーの聖地となっていることから、SUZUKI「隼」を描いたラッピング列車の運行（運行開催時には、バイク「隼」とパレード走行を実施）、若桜駅構内のSLのピンクラッピングなどの取組を行ってきているが、こうした取組がその他の観光施設、宿泊施設の利用につながる、地域への観光客の誘引力となっており、若桜鉄道を観光資源として活用することは、若桜鉄道だけでなく、地域への観光客の流入・産業活性化につながっている。

このため、昭和の原風景を走る新しく懐かしい旅を演出するための車両の観光列車化を行い（観光列車「昭和」「八頭号」「若桜号」：2017年度～2019年度にかけて順次竣工）、観光列車を活用したツアー造成やオリジナル商品の開発、周辺観光施設との連携事業の実施、観光客の利用に資する駅舎の美装化等を進めることにより、鉄道利用を核とした更なる観光客の流入を図る。

併せて、事業実施に当たっては、観光協会のほか商工会、各駅の活性化団体で組織する若桜鉄道沿線活性化協議会（任意団体）等のネットワークも活用しながら、地域の集客施設の事業者とも連携し、観光ルートや共通入場券の販売、地元飲食店や地域物産の販売などに繋げることにより、こうした事業者の商業振興、産業振興を図る。

※DMOについては、鳥取県東部及び兵庫県北但西部の1市6町の取組で創設。

※PRやツアー販売、イベントの開催に当たっては、これまで実施してきたSL走行社会実験や「隼」ラッピング列車走行、ピンクSL等の取組みを行う中で把握してきたノウハウ、観光客のニーズを踏まえて、想定される客層に応じた企画・営業・広報等を実施。また、継続的な観光客の確保を図るため、取組みの実績を検証の上、各年度の取組を実施していく。

※併せて、交付対象外事業として、若桜鉄道の安定的な運営を確保するため、第3種鉄道事業者として施設の保守管理や設備改良に加え平成28年度より、これまでの線路等の施設に加え車両についても町有化するとともに、若桜町に加え八頭町においても通学定期券の半額助成を開始するなどの取組を進めるとともに、平成28年度には、地域の関係者が参画し鳥取県東部地域での公共交通網形成計画を策定し、地域交通における役割の整理や今後の事業計画の再構築を図っているところ。

#### ④ 事業が先導的であると認められる理由

##### 【自立性】

平成28年度より、車両を町有化することにより、若桜鉄道は旅客運送に注力できる体制を確保。その中で、観光事業を進めることにより、観光旅客による旅客収入やイベント、グッズ販売等による営業外収益を確保することにより、安定的な事業運営を図る。（足下を見ても、平成27年度は、営業外収益の増加により実質赤字幅が改善(H26:△20,375千円→H27:△14,910千円)しており、通勤や通学の利用減が想定される一方で、引き続き観光旅客及び営業外収益の確保を図りつつ、車両の町有化も実施。平成28年度以降連続で黒字決算。）

※平成28年度には、地域の関係者が参画し鳥取県東部地域での公共交通網形成計画を策定。地域交通における役割の整理や今後の事業計画の再構築を図り、中期的な見通しのもと、安定的な運営の確保に努めている。

### 【官民協働】

民間である若桜鉄道は、事業運営主体として旅客運送と観光事業に責任を持ち自立的な事業運営を実施。両町は施設及び車両の所有者となることで若桜鉄道の資産保有負担を軽減し、旅客運送及び観光事業に集中的に取り組める体制を確保。

### 【政策間連携】

若桜鉄道を軸とした観光施策を推進することで、①地域の交流人口増や経済活性化、②地域事業者の商業振興、③若桜鉄道㈱の自立的な事業運営の実現による地域公共交通の確保を図るものである。

### 【地域間連携】

両町は、共同出資する若桜鉄道の運行地域であり、出資比率に応じた負担責任により、共同して若桜鉄道の運行支援及び観光化に取り組む。両町に若桜鉄道運行対策室を設置し、日常的にも連携を取り合い一体的に事業を実施。

### 【その他の先導性】

特になし

## ⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

4-2の【数値目標】に同じ。

## ⑥ 評価の方法、時期及び体制

### 【検証方法】

産官学金労言等が参加した組織による検証体制を構築し、PDCAサイクルによる効果検証を実施。

### 【外部組織の参画者】

総合戦略検証のための委員会に参画した商工会、県庁、大学、金融機関、労働局、マスコミ等産官学金労言等の外部有識者として参画いただく予定。

### 【検証結果の公表の方法】

HPにおいて公表する。

**⑦ 交付対象事業に要する経費**

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 124,608千円

**⑧ 事業実施期間**

地域再生計画認定の日から、2021年3月31日（5ヵ年度）

**⑨ その他必要な事項**

特になし

**5-3 その他の事業**

**5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置**

該当なし

**5-3-2 支援措置によらない独自の取組**

（1）若桜鉄道対策事業

事業概要：地域の観光資源であるとともに、公共交通の柱である若桜鉄道について、第3種鉄道事業者として施設の保守管理や設備改良を実施するとともに、利用促進に向けた取組みを実施。

実施主体：鳥取県八頭郡若桜町及び八頭町

事業期間：2016年度～2020年度（第3種鉄道事業者としての取組は、2021年度以降も実施予定）

**6 計画期間**

地域再生計画認定の日から2021年3月31日

**7 目標の達成状況に係る評価に関する事項**

**7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法**

5-2の⑥の【検証方法】及び【外部組織の参画者】に同じ。

**7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容**

4-2に掲げる目標について、7-1に掲げる評価の手法により行う。

**7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法**

5-2の⑥に掲げる【検証結果の公表の方法】に同じ。